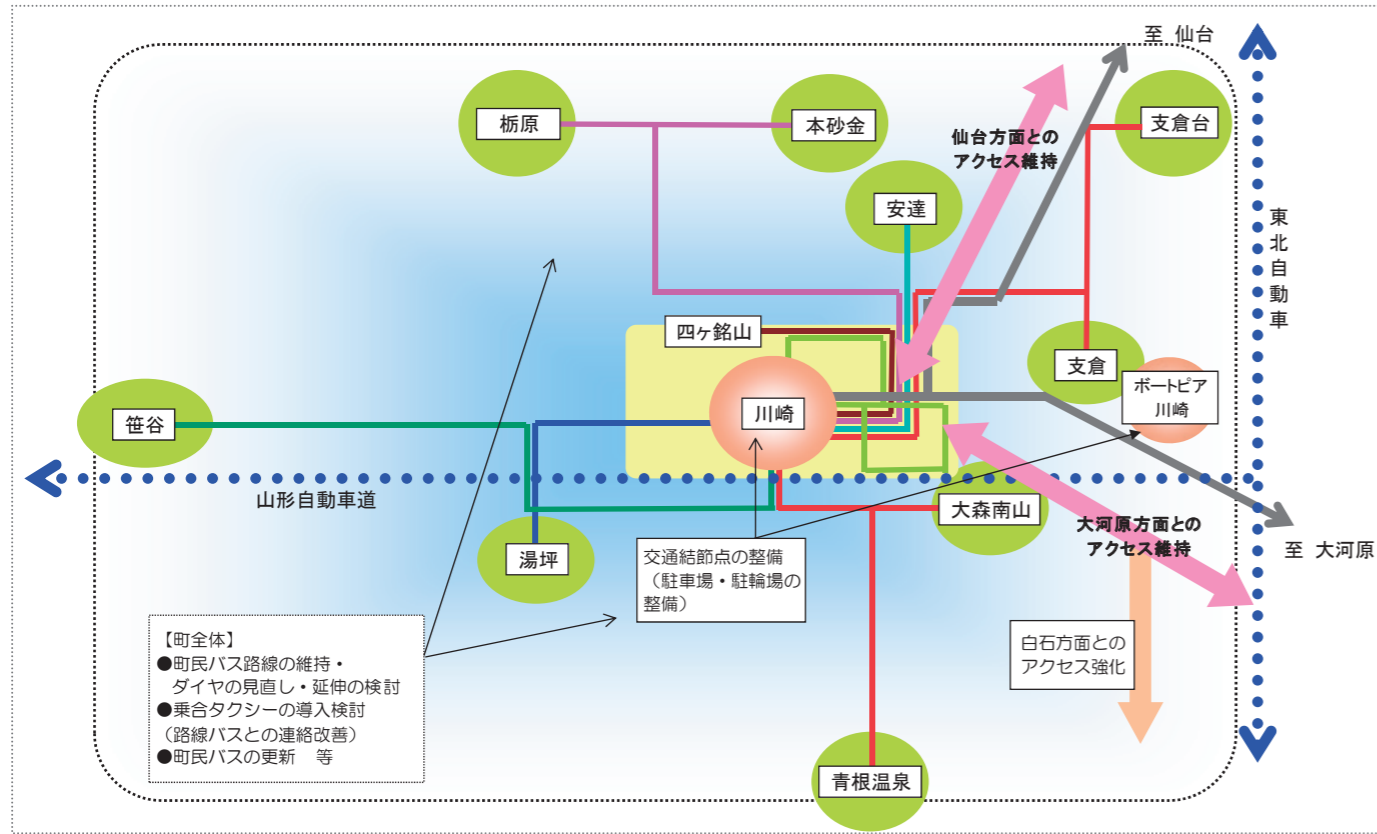


《川崎地域公共交通体系像》

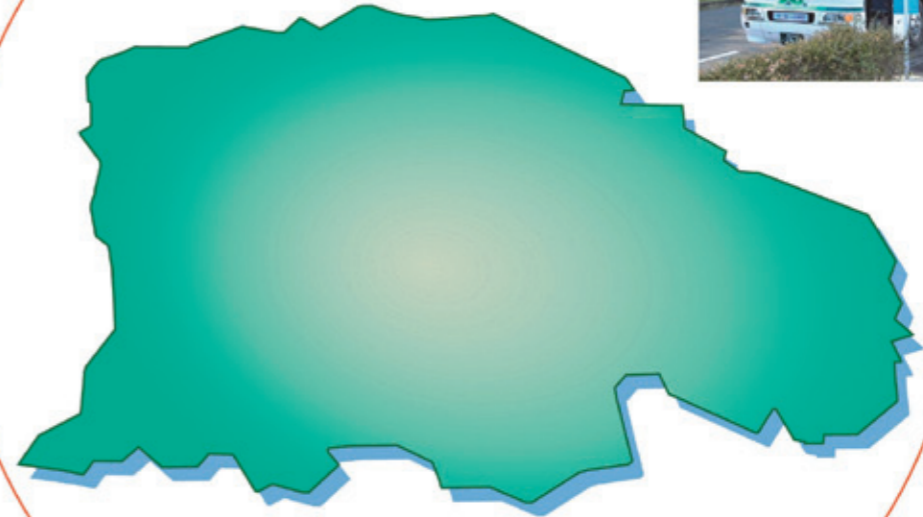


《川崎地域公共交通総合連携計画の事業構成とスケジュール》

			平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度以降
川崎町地域公共交通総合連携計画	既存バス路線の維持・充実対策	バス路線相互のダイヤ調整	ダイヤ改正時調整			
		公共交通体系の強化	4月1日より運行			
	公共交通体系の強化	乗合タクシーの導入検討			導入検討	
		交通結節点の整備	整備検討			
	交通結節点の整備	パークアンドライド用駐車場の整備				
		町民バス運行体制の見直し	運行の効率化・ダイヤの見直し			4~9月運行ルート等見直し
	乗車料金の見直し		4月1日より改定			
	利用しやすさ・わかりやすさ	主要バス停の待合せ環境の改善	整備検討			
		町民バスの更新	9月1台更新			随時、更新予定
		公共交通ガイドブックの作成・更新	作成検討			

概要版

川崎町地域公共交通総合連携計画



平成24年3月
川崎町

川崎町 企画財政課

〒989-1592 宮城県柴田郡川崎町大字前川字裏丁 175-1 電話：0224-84-2111（代）

計画策定の目的

地域公共交通総合連携計画とは「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、「川崎町地域公共交通会議」が中心となって、これからの川崎町の公共交通の活性化・再生のための地域における主体的な取り組み及び創意工夫を総合的、一体的かつ効率的に推進する方針・方策を示すものです。

近年、全国的にも公共交通機関の利用者数は年々減少しており、川崎町においても例外ではありません。特に既存の交通機関の廃止等による交通空白地域の増加や厳しい財政状況の下、地域の公共交通を巡る環境は極めて厳しい状況にあります。

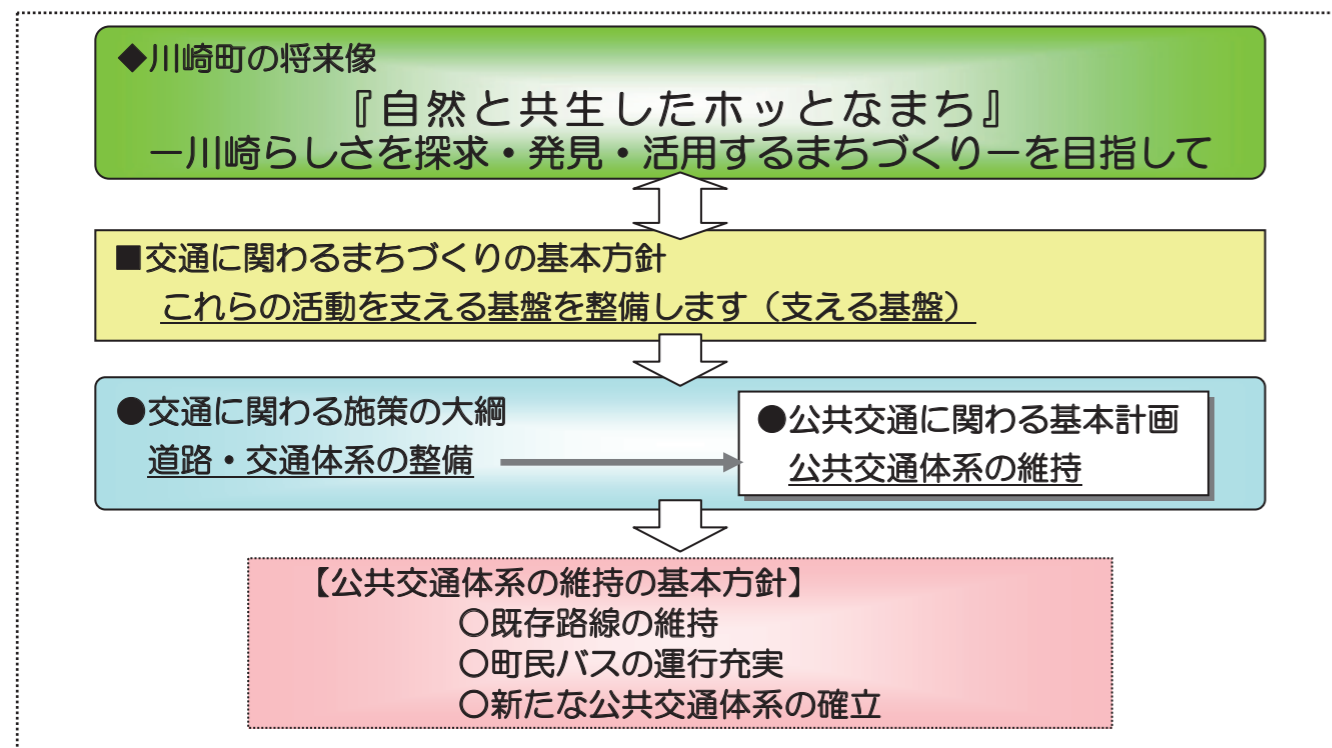
しかしながら、今後の高齢化社会の到来、生活圏の拡大、小学校の統廃合、環境問題への配慮など、町民生活における様々な視点から、社会の要請に応え、地域公共交通の充実、運行体系の再編整備と維持確保を図っていく必要があります。

本計画は、町民生活の交通手段を確保するとともに、地域内交流の促進に伴う地域の活性化を図ることを目的に、川崎町全域を対象とした、新しい「地域公共交通総合連携計画」の策定を行ったものです。

計画策定の位置づけ

川崎町は、これからのまちづくりに係る計画として「第5次川崎町長期総合計画」を策定しており、基本計画における「道路・交通体系の整備」の中で、「公共交通体系の維持」が方向づけられています。

《川崎町地域公共交通総合連携計画の位置づけ》



地域公共交通総合連携計画の基本的な方針と目標

計画の基本的な方針および目標は、公共交通の課題や町民意向等を踏まえ、次のように定めます。

■計画の方向性や事業に係る基本的考え方

既存路線を基本として、より利用しやすい環境を提供し、町民の利便性や利用者を確保していきます。

■基本的な方針

- 基本方針1 移動制約者の交通手段の確保（既存路線の維持と必要に応じた充実）
- 基本方針2 地域公共交通の効率的な事業の確立（新たな生活交通も視野においた公共交通体系づくり）
- 基本方針3 地域まちづくりや住民などとの連携（関係機関・町民との連携による施策の推進）

■公共交通対策の目標

- 目標1 高齢者・通学者を主対象とした地域社会基盤としての公共交通の存続
- 目標2 持続性を追及した効率的な公共交通サービスの提供
- 目標3 行政、公共交通機関、地域住民の連携・協働

地域公共交通総合連携計画における方向性や事業の体系

計画の方向性や事業に係る基本的考え方を踏まえ、本地域における事業の構成を次のように方向づけます。

《計画に係る事業の構成（五つの柱）》

(1) 既存バス路線の維持・充実対策	
バス路線相互のダイヤ調整	○高速バス・路線バスと町民バスのダイヤの接続を促すため、現在の事業環境の維持や運行の安全性などに留意しつつ、改善に向けた交通事業者への要請や調整を図っていきます。
(2) 公共交通体系の強化	
スクールバスの運行	○通学時の児童の安全や父兄の負担軽減のため、統廃合により閉校する小学校4校に対し、児童の移動手段となるスクールバスの運行を図ります。
乗合タクシーの導入検討	○路線バスと町民バスの接続性や交通空白地域の利便性の向上を図るため、地域住民と協議を重ね検討していきます。
(3) 交通結節点の整備	
パークアンドライド用駐車場の整備	○バスの乗り継ぎ利便性の向上と利用促進に向けて、やすらぎの郷（国民健康保険川崎病院・健康福祉センター）の駐車場をパークアンドライド用駐車場、サイクルアンドライド用駐輪場として活用します。 ○ポートピア川崎向かいにある高速バス転回所をパークアンドライド用駐車場として活用し、高速バスの利用促進を図ります。
(4) 町民バス運行体制の見直し	
運行の効率化・ダイヤの見直し	○町民の日常交通手段として機能する町民バスの維持を基本として、利用者の少ない便のダイヤの見直し・デマンド運行の可能性、交通空白地域への延伸などの可能性を検討していきます。
乗車料金の見直し	○4小学校の統廃合に伴うスクールバスの無料運行に応じ、町民バスの乗車料金を長期的に継続運行ができる料金体制に見直しすることとします。
(5) 利用しやすさ・わかりやすさ	
主要バス停の待合せ環境の改善	○町民バス路線の起終点バス停では、バス利用者の利便性や快適性の向上に向けて、待合せ環境の改善を図ります。
町民バスの更新	○町民バスで、更新車両を導入する場合は、高齢者の着席による利用や安全な乗り降りを可能とするよう、引き続き車両の改造を含めた対応を図っていきます。
公共交通ガイドブックの作成・配布	○町内の公共交通の路線図、時刻表、運賃、乗り継ぎ案内、周辺施設案内等をまとめた「川崎町公共交通ガイドブック」を作成し、公共交通の利用促進を図ります。